

最近の青少年を取り巻く環境は憂慮すべき問題がたくさんあります。人間関係が希薄になり、家庭や地域の教育力の低下した現代は、子ども達にとって温かさのない社会となりました。事件を起こさないまでも、最近の青少年の問題点として言葉遣いやマナーの悪さ、社会的規範意識や道徳的実践力の低下、コミュニケーション不足等が指摘されています。それらのほとんどが大人社会の反映であり、家庭の役割・機能が十分に果たされていない状況にあると考えます。

このような状況の中で、青少年が伸び伸びと育つ環境を整え、健全な成長を図るのは、親、大人たちの責任であり、そのためには、まず、親や大人が姿勢を正し、モラルの向上や地域の教育力を高める必要があります。

このことを踏まえて、本年度の「青少年問題を考える懇話会」は、『親の役割を問う』というテーマを設定いたしました。

青少年の問題に精通する委員の皆さまには、家庭でのコミュニケーションの機会づくりなど親子の信頼関係の構築や規範意識の醸成などが叫ばれている中、次代の社会を担う青少年が、社会的に自立するために家庭・学校・地域社会、そして行政や関係機関がどう対応すべきかを、今一度青少年育成の原点に振り返りながら、具体的な方策を見出す手がかりとなる適切なご提言をいただくとともに、議論を深めていただきました。

この集録は、懇話会の議論の内容をとりまとめたものであり、今後の青少年の非行防止や健全育成運動の推進に、いささかなりともお役に立てただければ幸いです。

平成二十年三月

財団法人北海道青少年育成協会

会長 佐々木 亮 子



はじめに..... 1

平成十九年度

青少年問題を考える懇話会

I	テーマ設定にあたって.....	3
II	懇話会委員.....	3
III	提言1..... 佐藤 寿治.....	4
 高田 憲司.....	5
 坪田 清美.....	6
 山内平一郎.....	7
 山谷敬三郎.....	9
IV	提言を受けての協議.....	13

これまでのテーマ一覧..... 33

「青少年問題を考える懇話会」設置要領... 34